

氏名：

施設名：

疾患	調剤 処方解析	服薬指導	処方提案 疑義照会	継続的 関わり
①	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし
②	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし
③	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし
④	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし
⑤	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし
⑥	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし
⑦	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし
⑧	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし
⑨	(例)	(例)	(例)	あり(例) なし

※正の字で症例数を計測する。合計症例をカッコ内に記載する

①がん ②高血圧 ③糖尿病 ④心疾患 ⑤脳血管疾患

⑥精神神経疾患 ⑦免疫アレルギー疾患 ⑧感染症 ⑨その他

代表的な8疾患(がん、高血圧) 体験まとめ 疾患と代表薬剤

がん	疾患名					
	代表薬剤	☐ 代謝拮抗薬				
		☐ アルキル化剤				
		☐ 白金製剤				
		☐ DNAトポイソメラーゼ				
		☐ 抗癌性抗生物質				
		☐ 抗癌性植物成分				
		☐ 分子標的薬				
		☐ 抗エストロゲン、抗アンドロゲン薬				
		☐ その他()				
		☐ 支持療法薬(制吐剤など)				
		☐ オピオイド				
	評価	4	3	2	1	0

高血圧	疾患名					
	代表薬剤	☐ Ca拮抗薬				
		☐ ACE阻害薬				
		☐ ARB				
		☐ β 遮断薬				
		☐ 利尿薬				
		☐ α 遮断薬				
		☐ その他()				
	評価	4	3	2	1	0

4	3	2	1	0
複数の症例について継続的に関わり、薬剤師レベルの対応ができた。	処方提案などを通じて、患者個々の状態にあった対応ができた。継続的に関わることもできた。	処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解し、実際に症例について対応した。	実際の症例で、処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解できた。	該当患者がおらず、対応する機会がなかった。

代表的な8疾患(糖尿病、心疾患) 体験まとめ 疾患と代表薬剤

糖尿病	疾患名					
	代表薬剤	☐ スルホニル尿素系				
		☐ グリニド系				
		☐ ビグアナイド系				
		☐ α-グルコシダーゼ阻害薬				
		☐ DPP-4阻害薬				
		☐ SGLT-2阻害薬				
		☐ インスリン製剤				
		☐ GLP-1作用薬				
		☐ その他()				
評価	4	3	2	1	0	

心疾患	疾患名					
	代表薬剤	☐ 硝酸薬				
		☐ 抗不整脈薬				
		☐ 強心薬				
		☐ 利尿薬				
		☐ 抗血小板薬				
		☐ 抗凝固薬				
		☐ β遮断薬				
		☐ ACE阻害薬、ARB				
		☐ その他()				
評価	4	3	2	1	0	

4	3	2	1	0
複数の症例について継続的に関わり、薬剤師レベルの対応ができた。	処方提案などを通じて、患者個々の状態にあった対応ができた。継続的に関わることもできた。	処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解し、実際に症例について応対した。	実際の症例で、処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解できた。	該当患者がおらず、対応する機会がなかった。

代表的な8疾患(脳血管疾患、精神神経疾患) 体験まとめ 疾患と代表薬剤

脳血管疾患	疾患名					
	代表薬剤	☐ 抗血小板薬				
		☐ ワルファリンカリウム				
		☐ NOAC,DOAC				
		☐ 急性期脳卒中治療薬				
		☐ その他()				
	評価	5	4	3	2	1

精神神経疾患	疾患名					
	代表薬剤	☐ 抗うつ薬				
		☐ 催眠薬				
		☐ てんかん治療薬				
		☐ パーキンソン病治療薬				
		☐ 認知症治療薬				
		☐ 抗精神病薬				
		☐ その他()				
	評価	5	4	3	2	1

4	3	2	1	0
複数の症例について継続的に関わり、薬剤師レベルの対応ができた。	処方提案などを通じて、患者個々の状態にあった対応ができた。継続的に関わることもできた。	処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解し、実際に症例について対応した。	実際の症例で、処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解できた。	該当患者がおらず、対応する機会がなかった。

代表的な8疾患(免疫・アレルギー疾患、感染症) 体験まとめ 疾患と代表薬剤

免疫 アレルギー疾患	疾患名					
	代表薬剤	☐ ステロイド ☐ 内服 ☐ 外用剤				
		☐ 抗ヒスタミン薬				
		☐ シクロスポリン、タクロリムス				
		☐ リウマチ治療薬 内服				
		☐ 生物学的製剤				
		☐ 気管支喘息治療薬 ☐ 吸入薬				
		☐ その他()				
		評価	4	3	2	1

感染症	疾患名					
	代表薬剤	☐ ペニシリン系				
		☐ セフェム系				
		☐ マクロライド系				
		☐ キノロン系				
		☐ MRSA治療薬				
		☐ 抗ウイルス薬				
		☐ 抗真菌薬				
		☐ その他()				
	評価	4	3	2	1	0

4	3	2	1	0
複数の症例について継続的に関わり、薬剤師レベルの対応ができた。	処方提案などを通じて、患者個々の状態にあった対応ができた。継続的に関わることもできた。	処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解し、実際に症例について対応した。	実際の症例で、処方解析、薬歴等の確認を行い、治療方針について理解できた。	該当患者がおらず、対応する機会がなかった。